

報道関係各位

卓球Tリーグ 岡山戦 手話実況付き生中継を実施

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は11月4日にイオンモール岡山で開催される「Tリーグ 2024-2025シーズン 岡山リベッツvs金沢ポート」を手話実況付きで生中継します。誰もが当たり前前にスポーツ観戦を楽しめる環境を創出しようと地上波放送を実施するもので、約2時間全編にわたり、ろう者のMCがリアルタイムで手話実況を行います。



手話で観戦を呼び掛ける動画
<https://x.gd/dSwV5>



過去のマラソン手話実況付き生中継の
放送画面（左下に手話実況ウィップ）

【手話実況とは】

OHKが30年以上継続している手話放送とスポーツ実況中継のノウハウを生かし、多様な人がスポーツ観戦を楽しめる環境創出を目指し、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金（東京都文京区、理事長：豊田章男）の助成を受け、2022年秋に日本で初めて実施した実況スタイルで、音声実況を健聴者が手話通訳し、それを見たろう者が自身の言葉として手話で実況する画期的な取組。

OHKはこれまで自動車競技（カーレース、ラリー）、マラソン、サッカー、バスケットボール、バドミントンで手話実況を実施してきましたが、今回初となる卓球では岡山リベッツと協力し、手話実況付き生中継を放送します。手話は聴覚に障がいのある方にとっての言語で、情報を的確に伝えるコミュニケーション手段ですが、ろう者自身が言葉の意味をくみ取り具体的に表現する手の動きや表情も含めた手話実況は、スピード感や臨場感にあふれています。障がいの有無に関わらず、卓球競技の魅力を感じてもらえる機会となります。

当日の手話実況は、OHKが主催する「OHK手話実況アカデミー」に所属するろう者で自身もアスリートの早瀬憲太郎氏と3人のコネクター（手話通訳者）、そしてOHKの3者がタッグを組み、世界最高峰を掲げるTリーグの公式試合をお届けします。世界トップレベルの選手が所属するリーグ公式戦に手話実況を付けることで、卓球ファンや競技者を増やし、裾野を広げることに貢献したい考えです。

手話実況中継に向け、チームと協力し3つの準備を行っています。1つ目はチーム名「岡山リベッツ」を表す手話表現を、チーム名の由来や思いなどを取り入れながら選手とろう者が協力して考案しています。2つ目は選手が手話で観戦を呼び掛ける動画の制作です（<https://x.gd/dSwV5>）。そして3つ目が声援と手話を交えた「岡山リベッツ オリジナル応援手話コール」の開発です。卓球では選手と観客の距離が近いので、会場にいるサポーターの応援が試合の臨場感を高める要素となっています。今回の試合会場では、聴者とろう者がともに観戦し、それぞれの言語で感情のこもった応援をするという新しいイベント体験を創出します。

また今回の公式戦がOHKの放送スタジオが入るイオンモール岡山で開催されることから、OHKは、この取組をイオンモール岡山館内に新しい回遊を創り出すチャレンジと位置付けています。公式戦が行われる1階の未来スクエアから地上波での中継を行い、5階にあるOHKの放送スタジオでは手話実況を実施します。来館者は可視化されたスタジオからガラス越しに手話実況が行われるスタジオの様子を見学することができます。これらの映像は地上波で放送されるだけでなく、イオンモール岡山館内放送「haremachi TV」でリアルタイムに放映され、館内の全フロアに設置された約50か所のサイネージから視聴可能です。

今回の取組は単なる情報発信にとどまらず、映像や新しい応援スタイルによって館内を有機的に結び、さらに放送を通じて多様な人がスポーツの興奮や感動をリアルタイムに共有できる環境の提供を目指したものです。OHKでは、今後もスポーツ分野におけるアクセシビリティ体験の、より一層の充実を図ってまいります。

<放送概要> ■番組名：明石スクールユニフォームカンパニー プレゼンツ Tリーグ 岡山リベッツ VS 金沢ポート
■放送日時：2024年11月4日（月・休） 14:45～16:50 ■解説：小林哲平（男子ホープスナショナルチーム コーチ）
■実況：岸下恵介（OHKアナウンサー） ■ペンチリポーター：佐藤樹理（OHKアナウンサー）
■手話実況：早瀬憲太郎（自転車競技デファアスリート、OHK手話実況アカデミー）